ときわまつ

成功体験を力に変えて

校長　加藤　真寿美

入学・進級から三か月が経ちました。運動会や体力テストなどの行事、校外学習などの様々な学習を通して、着実に成長している子供たち。ピカピカの一年生もすっかり学校生活になじみ、頼もしくなりました。一つ一つの成功体験の積み重ねが、子供たちの力となり、新たな挑戦への原動力になっていることを感じます。

さて、教室を回ってみると、どの学級にも学級目標が掲示されています。

一年生「あたたかいことばをつかう　あいてをおもいやる　やさしいクラス　じかんをぴしっとまもるクラス」

二年生「えがおでたのしく　みんなできょう力して　なかよく　ゆずりあいができるクラス」

三年生「みんなで全力で　協力して楽しい　ピカ一のクラスにしよう！」

四年生「仲良くけんかのないクラス　元気で楽しいクラス　やさしいクラス　４年１組！」

五年生「高学年としての自覚をもち　相手のことを考えられる　優しいクラス」

六年生「～To～　楽しく笑顔で、仲の良いクラス　全校のために努力し、何事にも挑戦するクラス」

そして、一人一人の今年の目標も同じように掲示されています。一部を紹介します。（一年生は、後期から実施）

二年生
・かん字をていねいに書く
・しせいを正しくする

三年生
・新しくはじまる理科と社会をがんばる
・毎日元気いっぱいで、みんなとなかよくすごす

四年生
・本をたくさん読む
・みんなで中休みは思い切りあそぶ

五年生
・学校を支える人になる
・優しく前向きで、何事にもチャレンジできるようになりたい

六年生
・協力して大きな壁を乗り越える
・下級生に「６年生ってこんなにすごいんだ」と思われるような最上級生になる

これらの目標は、一年後の三月にどんな「学級」になっていたいか、どんな「自分」になっていたいか、という目指す姿を真剣に考えて決めたものです。そして、その目標を達成するために必要なことを考え実践しながら、子供たちは三か月を過ごしてきました。

今現在、目標はどの程度達成できているでしょうか。順調に目標に近付いている人、苦戦している人、既に目標を達成してしまった人……様々かもしれませんが、大事なことは今の「自分」をしっかりと振り返り、自分自身に向き合うことです。四月からの自分を振り返り、これからの自分について考えることは、とても重要な意味があります。友達のこと、学習のこと、生活面のこと……振り返り、考える視点は様々ありますが、最も大事な視点は、「なりたい自分」に近づいているかどうかです。そして、その振り返りを基に、「なりたい自分」を再確認することです。

子供たちには、一年間を通して「成長していく自分」を感じてほしいと思っています。「成長していく自分」は、努力の成果です。三月、その成果が実り、「なりたい自分」に到達した子供たちの成長を学校でも家庭でも喜びとなるよう、教職員全員でサポートしていきたいと思います。もう三月の話かと思われるかもしれませんが、あっという間に月日は流れます。思い描いていただけでは、「なりたい自分」には、なれません。日々の積み重ねや成功体験が、やがて大きな力となります。子供たちには、七月そして夏休みの機会を、「なりたい自分」を後押しする期間にしてほしいと伝えていきます。そして、夏休み期間には、御家庭でも様々な成功体験を味わってほしいと願っています。

七月には、「学校をよりよくしよう週間」が予定されています。これは児童会の取組の一つで、代表委員会の子供たちが、学校をよりよくしていくために何ができるかを考え、全校に呼びかけ、実践していくものです。今年度の取組は、ごみの分別やリサイクルの方向で話し合いが進められているようです。教室のごみ箱の状況から課題を感じたようです。中央防波堤の見学を経験している子供たちは、東京のごみや資源の状況を学んでいます。学校をよりよくしていく身近な問題から、環境問題へと繋げていきます。

運動会

六月四日（日）

六月三日に予定していた運動会は、悪天候のため、翌日の四日に延期して行いました。当日は、晴天に恵まれ、子供たちの元気な歓声や拍手が校庭に響きました。

二学年ごとに行った表現では、全員で心を合わせ、練習の成果を披露しました。また、徒競走や団体競技も、皆一生懸命に取り組みました。そして、プログラムの最後には、四年ぶりに全校で大玉送りを行い、白熱した勝負が繰り広げられました。

今年のスローガンである、「輝け！最高の笑顔で 最後まで全力でがんばろう」のとおり、子供たちの笑顔があふれる一日となりました。暑い中でしたが、最後まで子供たちに温かい声援を送ってくださった保護者・地域の皆様、ありがとうございました。

応援合戦

5･6年生

3･4年生

1･2年生

スローガンとマスコット

全校競技「大玉送り」

選抜リレー

体力テスト
六月十五日（木）

全校で体力テストを実施しました。今年度も一年生と六年生、二年生と五年生、三年生と四年生でペアを組み、ソフトボール投げ、立ち幅跳び、反復横跳び、上体起こし、二十メートルシャトルランを行いました。また、五十メートル走、握力、長座体前屈は、体育の時間に各学級で測定をしました。

子供たちは、昨年の自分の記録や、種目別の平均値を目安に自分の目標を決め、真剣に取り組みました。友達や下級生を励ましたり、よい記録が出たことを一緒に喜んだりする姿がたくさん見られました。

■七月の生活目標■
夏休み前のまとめをしっかりしよう

■すこやか目標■
夏を健康に過ごそう

いよいよ後三週間で夏休みになります。

学校では、夏休みの長期休業日を控え、意識的に子供のよさや成長を見付け、子供一人一人に伝えるなど、自己肯定感を高める取組を強化していきます。

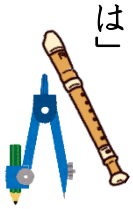
児童が自らの可能性に気付くことが何よりも大切です。学習や生活についての振り返りを行う中で、児童に自らの可能性に気付かせ、児童の心を育んでいきます。

また夏季休業日中、健康で安全な充実した生活、早寝や早起き・適切な食事の摂取など、規則正しく自立的に生活することができるよう学級活動などを通して、声掛けもしていきます。

そして授業などを通して児童に「SOSを出す力」を身に付けさせることも行っていきます。その一つとして、タブレット端末のデスクトップにあるハート型のアイコン「そうだん」に紹介されている相談窓口を活用して、どんなに小さなことでも不安や悩みがあるときにはひとりで悩まずに保護者をはじめとする信頼できる大人に相談していくことを伝えていきます。

地域・保護者の皆様方には、家庭における児童を見守り、児童に少しでも気になる様子が見られる場合には、学校はもとより、外部の相談機関への御連絡をお願いいたします。学校・家庭・地域の連携による「子供が安心して相談できる環境」を築いていきたいものです。

特別支援教室「ゆずりは」
◆道具の紹介◆



前月号に続き、子供たちの学習のつまずきを解決する、お助け道具を紹介します。

握って描けるコンパス

一般的なコンパスは、指でつまみを回して円を描きます。子供たちの中には、この動作が難しく、うまく円を描くことができない子がいます。このコンパスはつまみ部分のキャップを握って回すだけで簡単に円を描くことができます。

リコーダーの穴に貼るシール

このシールは、滑りにくい素材でできています。リコーダーの穴に合わせて貼ることで、穴を塞ぎやすくし、音漏れを防ぐことができます。透明なので目立ちにくいところもポイントです。

これらの道具はゆずりは教室にもありますので、気になるものがありましたら、ぜひお立ち寄り下さい。

直通電話:〇三-三四八六-五一〇八
ゆずりは教室　担任　金勝　友恵